

第6回倉敷市総合計画審議会 第3分科会議事録（要旨）

会 議 名 称	第6回 倉敷市総合計画審議会 第3分科会（生活環境・防災・都市基盤）	
開 催 日 時	令和2年8月24日(月) 14:00～15:05	
開 催 場 所	倉敷市役所 議会棟3階第2会議室	
出席者 ※敬称略	審議会 委 員	板谷 利昭, 伊東 裕紀, 塩津 孝明, 田野 美佐, 平松 恵美子, 松岡 智子, 守屋 弘志
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員, 事務局
関係者	関係者	委託事業者
傍聴者	傍聴者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 今後のスケジュールについて 3 総合計画について 4 その他 5 閉会	

1. 開会
2. 今後のスケジュールについて
(事務局説明)
3. 総合計画について
(事務局説明)

審議

分科会長	まず、基本構想の部分について、ご意見はないか。ないようなら、基本計画の第3分科会の担当分野を確認していきたい。
委員	66頁、3-1について。どの項目でもそうだが、目標とまちづくり指標の関係について、なぜこういう指標にしているのかなど教えてほしい。 「自然環境が守られ、環境と経済・社会とのバランスが保たれている」というめざすまちの姿に対して、まちづくり指標として3項目掲げているが、その関係性はどうか。この指標をどこまで達成したら、目標が達成したと言えるのか、そのような説明があれば聞きたい。
市	まちづくり指標は第六次総合計画でも設定していて、六次では、市民アンケート調査によるものが多かったが、客観的に測れる指標が必要だと考え、入れられるところは客観的な指標を入れるよう努めている。
委員	目標が達成できるには、指標の数値がどのくらいになれば、という具体的な考え方はあるのか。
市	趣旨はわかるが、基本目標に直結できるような内容の指標は何をだしたらいいのか難しい。現在は、担当部局が適切な内容として入れている。ただ、この指標だけで目標達成が判断できるかということ、この指標が〇%になったら、目標達成できた、というストレートなもの、遠回しなもの両方あると思う。
委員	例えば、会社では、毎月の売上利益から最終的な売上が見込めるように、毎年の指標数値をもって、目標に近づいているのかわからないといけないのではないか。
市	おっしゃるとおり、民間は明確に目標数値が出せるが、行政の施策などの場合は、数値に出せるものと出せないものがある。 その中で、基本目標を受けて、市の施策「地域の環境と経済・社会が調和した持続可能なまちづくりを推進する」といっても、何をもってバランスがとれていると言えるのか、そこを直接的に示すのは難しく、明確なものが示しにくいと思う。 たとえば、今回「環境学習満足度」という指標をお示ししているが、環境学習、何回して何人来たという数字だけでは、その効果がどうだったかは測れず、いろいろな施策を行った結果として、市民の満足度が高くなったかどうかで測るしかないのではと考えている。
委員	説明できるストーリーは作っておく必要があると思う。そこを説明

	<p>していないと、計画を見た人がなぜこの指標かがわからないし、最終目標としてこうしていきたいということ、なぜこの項（めざすまちの姿）で、この指標を重要視していくのかをわかるようにすべきではないか。</p>
分科会長	<p>今後、検討の余地があるので、今の意見をもとに検討してほしい。では3-1について他にはないか。3-2についてはどうか。</p> <p>次に3-3で、前回、（現案の）1項めについて、現状から課題へのつながりがよくわからないというご意見があったが、その件について、市担当から補足説明をお願いしたい。</p>
市	<p>前回、大量生産・大量消費の話からマイバックや食品ロス削減につながる場所がわかりづらいというご質問があり、先ほど事務局からも言葉を付け加えたという説明をしたが、さらに補足する。</p> <p>現状のところ、大量生産・消費社会が「世界的に」広がり、という言葉を入れ、それを受けて、持続可能な生産消費経済を確保するというところで、SDGsでは、世界的に2030年までにごみを大幅に削減するという目標が掲げられている流れから、倉敷市でできることはごみを発生させない、リデュース、リユースの2Rを重点的に取り組んでいくということだ。そして身近なところでプラスチックごみを発生させないようマイバックを利用促進していく。</p> <p>また、世界的に飢餓の深刻な国もある中で、日本では年間600万t以上の食料をロスしているという中で、食品ロス削減の啓発など一人一人の意識や行動を変えていく取り組みが必要という流れになっている。</p> <p>また、SDGsのアイコンについて、11を追加してほしい。</p>
分科会長	<p>では、SDGsのアイコン11を資料に追加しておいてほしい。3-3で何か質問等はないか。次に3-4については。</p>
委員	<p>低炭素社会が形成されて、という目標に対してとあるが、現状と課題の4項目で、集中豪雨や大雨など気候変動の話が記載されているが、対策としては災害、防災の項に記載すべきかと思ったが、あえてここに入れているのか。</p>
市	<p>ここは地球温暖化の項目であるが、気候変動が起こっている原因のもとには地球温暖化があり、その結果が災害として表れているので、地球温暖化対策の推進が必要という観点で記載している。</p>
委員	<p>そうだが、施策としては防災に入ると思う。</p>
市	<p>地球温暖化対策を進めるにあたり、現状と課題にある、上の3つは緩和策、そして4つ目は適応策になる。国においては、この緩和策と適応策を車の両輪として進めており、市でも同じように書かせていただいている。</p>
委員	<p>了解した。</p>
分科会長	<p>では3-5についてどうか。</p>
委員	<p>この項は、多くの問題を含んでいるため、現状、課題、基本方針ともにボリュームも項目数もたくさんある中で、指標が3つしかないの</p>

		は感覚的に少ないように感じる。これらの問題を網羅するには、もっと多くの指標設定が必要ではないか。指標が示せないから3つなのか。
市		防災・減災への備えとして、市としても災害備蓄品を増やしたりや防災備蓄倉庫の整備などの取組を行っていくところで、指標の設定について、担当部局とやり取りしながら出てきたのが、防災・減災は自分たちでやらないといけないということで、自主防災組織のカバー率や地区防災計画などの指標になっている。いくら河川の改修を行ったり、市が防災の取組を行ったりして、それらを指標として掲げていても、実際に事が起こった時には、自分たちはどうするのか、市民自らが行動していただかなければいけないと考えている。そういう観点から、本当に災害に強いまちとなるには、市民意識が高まるような指標がよいのではないかと考え、現在お示ししている内容としている。
委員	員	担当部局とそのような観点でやり取りしているのは了解した。
委員	員	一番下には感染症のことも書かれているが、それについてはどうか。
市		とてもホットな話題でありどう入れていくのか難しい部分がある。現在の社会を見ても、テレワークや新しい生活様式など、これまでの生活がガラッと変わってしまった。市役所に来なくても証明書類がとれるなど変革が進んでいくと思うし、今後10年の総合計画なのでいろいろ盛り込んでいきたい。しかし、今の新型コロナで言えば、ワクチンなどの予防法が確立すれば、インフルエンザや風邪とどこが違うのか、という状況になる可能性もあり、具体をお示しきれてないのが現状だ。
市		他の項目で、確実に影響があるという経済面では、少なくとも数年にわたって停滞などの影響があると予想され、2-5で市の施策などで対応について触れている。ただ、どこまで入れるかということは難しいタイミングのため、入れられるところは入れているのが現状だ。
委員	員	指標について、適切な言い方を思いつかず、言葉は悪いが、この3つではずるいと感じる。基本方針では、2つ目、3つ目、5つ目など市が行うことが多くなっているのに、指標は市民目線のものだけだ。市がする施策に対して、たとえば、方針3に対して、「防災への安心度は高まったか」「市の防災度は上がっていると感じるか」など、市の取組を測る指標があってもよいと思う。
市		ご意見のとおり、市民アンケートをとる中で、市の防災度が上がっているかという指標はあってもよいと思うので担当部局と協議したい。
分科会長		検討をお願いしたい。では3-6はどうか、続いて、3-7、8、9についてはどうか。
委員		3-6、8、9もそうだが、前回の内容と比べて大変わかりやすくなっていてよいと思う。
分科会長		続いて3-10、11、12についてはどうか。

委員	細かいことだが、3-12というタイトルの位置が、ほかの頁と比べてずれていると思う。
分科会長	他にはないか。では、せっくなので、一人ずつ全体に対してでも気になった部分でも発言をお願いしたい。
委員	大変わかりやすくなっていてよいと思う。気になる防災の項目についても、先ほど3-5の項で、防災は自分たちですということもそのとおりだと思う。
委員	基本目標3の項目の分野については、多くの内容を含むがよくまとまっていると思う。真備で災害があったが、倉敷市全体で防災・減災という点で考えていかなければならないが、多くの取組が入っていてうれしく思っている。 町全体が災害になれば市が機能しなくなるので、減災対策が重要だと思う。河川等の修繕はしているが、やはり市民の意識が重要で、自主防災組織や日ごろからの地域のまちづくり、近所付き合いなどソフト面での対策が大切だということも盛り込まれている。
委員	非常に広い範囲で多岐にわたる項目なので、部局間などの調整も大変だったと思う。せっかく10年ごとに基本計画を作るので、市民の方も含めてわかりやすい形としてほしい。
委員	この分科会は難しい部分が多く、他分野の指標では利用者数や割合などで示せるところもあるなかで、大変だったと思うが、知恵を絞ってまとめていただいた。
委員	7月の分科会で多く注文をつけたが、1か月でよく直したと思う。
委員	項目も多いのによくまとめていると思う。 1つ気になったのが、指標の目標値に「現状より増加」という言葉があることだ。このまま目標値は設定しないのか。
市	現時点で調整が間に合わなかっただけで、数値を入れる予定だ。
分科会長	まちづくり指標のところは広く市民の方にわかりやすい形にしていただければよい。今回、グラフなどの図表やSDGsのマークもわかりやすく示されているところもよいと思った。
分科会長	では、他にご意見はないか。特にないようなら、第3分科会においては、基本構想と基本計画の審議はこれで終了とする。本日の意見はまとめて計画素案に反映し、後日報告してもらいたい。本日はありがとうございました。

4. その他

次回の日程について

5. 閉会